



埼鍍会だより

2017年活動テーマ

「自彊不息の時候、心地光光明明なり」



G7 2016 ISE-SHIMA SUMMIT

会長挨拶



「自彊不息の時候、 心地光光明明なり」

第24代埼玉会 会長 饗場 功治

会員・会友の皆様をはじめ埼玉県鍍金工業組合に関わる全ての事業者様には日頃より埼玉会活動にご支援・ご指導をいただき誠にありがとうございます。皆様のお支えを頂戴しながら私の任期も折り返すことができました。ご挨拶を前に感謝を申し上げますとともに深く御礼申し上げます。

「埼玉会」という名称は、これまでの活動により全国の鍍金業界の方々に知れ渡る存在となってきています。良い意味でも悪い意味でも有名になるということで常に注目されているということでしょう。我々「埼玉会メンバーは各自それぞれの立場を理解して自分の行いを客観的に自己分析しなければならない」と会長職を通じて感じた1年となりました。工場見学の際、講師・先生との接し方、他県さんとの交流、先輩・後輩との懇親などと振り返ってみますと「埼玉会の意義」が再確認できたように感じています。それは「社会人として、会社の代表者としての立ち振る舞いを青年部である埼玉会で学ぶ」ということであり、埼玉会での成功や失敗は各自の可能性を高めることができる場が埼玉会なのです。

今期のテーマは「自彊不息の時候、心地光光明明なり」と呪文のようなのですが、「自ら休まず励み一生懸命になっている人は、光り輝きに満ちてくる」と言志四録の一説を引用させていただきました。

埼玉会メンバーは、常に見られていますのでご注意を！

平成28年度 第47回 定期総会

2016年6月11日(土)



2016年6月11日(土)、さいたま市大宮区の「料亭旅館 新道山家」にて第47回定期総会が開催されました。

総会には埼玉県鍍金工業組合から黒澤理事長も御出席いただきました。

そして司会進行に(株)大倉の岡田氏、議長に(株)小林鍍金工業の小林氏により議事進行がなされました。また、兼松精鍍工業(有)島村氏の「開会の辞」により定期総会が開会し、今回の総会で甲斐野会長の任期が満了し、新会長として総会参加者の満場一致で(株)潮工業の饗場氏が第24代会長に就任する運びとなりました。会場は甲斐野前会長に2年間の埼玉鍍金会に対する御尽力に感謝した雰囲気でも包まれました。また、饗場新会長からは「守破離に挑む」という今年の埼玉鍍金会の年間テーマが発表され、先輩方のご努力を糧に変わりゆく時代に対して埼玉鍍金会流のやり方で挑んでみたいとの御言葉を頂きました。



そして、総会も無事に終了し同じく新道山家宴会場にて懇親会が行われました。懇親会には埼玉県鍍金工業組合より仁科顧問理事にも御出席いただき盛大な懇親会を開催する事が出来ました。

また、今総会、懇親会を持って埼玉鍍金会を御卒業される(株)新硬クローム工業の新谷氏、(有)高橋研磨工業の高橋氏、2名の先輩方への記念品贈呈が行われ会員全員が感謝の念に堪えない気持ちになりました。



7月例会

「工場見学会」

平成28年7月8日(金)
幹事 小林直樹・佐藤智弘

◆(株)大宮鍍金工業 本社日進工場

静止ラインからバレルライン、手付の処理工程、各種試験機器設備をはじめ、多数の設備、人員を有する亜鉛めっきを中心とした県内屈指の企業さまの本社工場を案内・見学させていただきました。亜鉛めっき業界では厳しいコスト制約の中にありながらも、設備機器をはじめ社員教育・福利に至るまで管理充実が図られており、町工場としての目標となるような社風であったことを再認識いたしました。



◆(株)小林鍍金工業

与野駅徒歩3分、マンションに囲まれた立地に驚きつつも、地域で営業を続けるための簡素間、特異的に目立たず圧迫感のない工場、住宅密集地に普通にあることが拍子抜けするような佇まいです。多数のラインをそろえ、多種多様な製品加工を手掛ける大宮鍍金さんからは一変して、バレルライン一本で、ねじ等小物の亜鉛めっきに特化した極めて特殊な業態に、なかなか理解に苦しんだと思います。仲間の会社とし

て、日頃より取引を行っていたり、同席、交流する機会もありながら、意外と日頃の顔を知らないもので、改めてその会社、仕事ぶりを見る機会を得て刺激、勉強になることがこんなにも身近なところにあると再認識させていただきました。

懇親会に於いては、馬肉専門店『勝馬』にて馬肉料理を頂きましたが、馬肉がこんなにおいしいなんて、灯台下暗し、恥ずかしながら再認識させられました。

埼玉鍍金会に於いては、世代交代も進み、若い世代に中心が移り行く時期であり、立派な企業の工場見学も有意義ではありますが、身近な社長の仕事ぶりも、ダイレ



クトな刺激となることを認識していただければ幸いと、齋場新会長の肝いりで企画させていただきました。継続開催の一回目として、移動、時間、コース等至らぬ点がありましたが、何かしら持ち帰られる気持ちがあったことを望みます。

ご対応頂いた大宮鍍金様に感謝するとともに、参加されました会員様の熱意に感謝致します。

9月例会

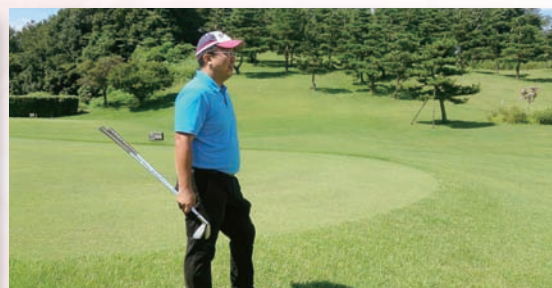
「第4回 東群埼青年部 合同ゴルフコンペ」

平成28年9月10日(土)
幹事 岡田祥一・熊木庸介

東京都、群馬県、埼玉県の鍍金組合青年部合同にて「東群埼ゴルフコンペ」を、群馬県富岡市の富岡倶楽部にて開催致しました。お陰様で今回第4回を迎え、東京都2名、群馬県7名、埼玉県12名の合計21名と、多くの方にご参加頂きました。

多くの台風が日本近海で発生し、各地で被害が出ていた中、幸運にも空一面に晴天が広がっていました。例年はほぼ順位が決まっていたため、今回はスコアに関係なく「参加者全員が楽しむことのできるコンペ」を目標と致しました。幅広くご参加頂きましたので、初心者から上級者まで楽しむことのできる新ルールなどを起用し、また、多くの企業様に協賛品を頂きまして、パーティーでは豪華なくじ引きを行うことができ、参加者全員が例年になく大いに盛り上がることができました。

今回もゴルフコンペを通し、共にゴルフをプレーする仲間であり、そして、めっき業界を牽引していく同志として、懇親を深め、互いに情報を共有し、良い刺激になったのではないかと思います。



10月例会

「県ふるさと納税入門講座」

平成28年10月7日(金)
幹事 山本隆治・緑川健雄

10月例会は10月7日(金)、ソニックシティ903号室にて「県ふるさと納税入門講座」と称し、県担当者様によるふるさと納税制度の仕組みと企業が利用した場合のメリット…等の勉強会を行いました。新制度として企業版が利用できることとなり、税制面の優遇措置が取れる等、企業として利用価値の高い内容となったため、県の担当職員様から我々企業の経営者及び後継者向けにご説明頂きました。

資料とスライドショーを用いて概要の説明の後、質疑応答では返礼品の一例の紹介、各市町村の取組の様子等、細かい内容まで丁寧に回答いただき、参加した受講者一同ふるさと納税制度への理解を深めることが出来ました。

続いて懇親会に移り、「隠れ菴 忍家」大宮西口店にて催し、終始和やかなムードのまま会を終了することが出来ました。

お忙しい中ご参加頂いた会員の皆様、誠に有り難うございました。この場を借りまして御礼申し上げます。



11月例会

「視察研修旅行」

平成28年11月
幹事 矢沢健・三井和宏

11月視察研修旅行は、新潟県を視察。現地では、新潟県鍍金組合のご厚意により、6工場を見学。また、伝統工芸から革新し世界的地位を確立した、爪切り、工具メーカー「(株)諏訪田製作所」にも訪問してまいりました。

初日は、新幹線で燕三条駅まで移動。大宮から1時間30分程で到着。レンタカーに乗り換え、(株)諏訪田製作所へ訪問。世界的に有名な爪切りの製造行程を見学し、製品製造に一切の妥協を許さない企業姿勢の説明を受けました。昼食を経て、三条市にあります鍍金工業団地：三条表面処理センター内にある(株)倉橋鍍金、(株)帰山鍍金工業、三条中央鍍金(株)と、共同排水を管轄する(協)三条表面処理センターを見学。工業団地を作った経緯、地元の方々との信頼関係を築いた経緯などを学び、我々埼玉メンバーも関心しっぱなしでありました。場所をテクモスタウン工業団地へ移動、(株)倉橋鍍金、(株)帰山鍍金工業の大島工場も見学。各社、自社の強み





12月例会

「忘年会」

平成28年12月9日(金)
幹事 石田恭章・井上和浩

12月例会は12月9日金曜日に、情報交換会を新宿にて25名の参加をいただき開催いたしました。

今回は忘年会シーズンということもあり、皆様楽しんでいただけるようサプライズを用意させていただきました。

サプライズ企画のショーは1時間ほど続き、非日常な空間での出来事に酔いしれ、声をからすほど楽しみ盛り上がっていただきました。

興奮冷めやらぬ中、「天空の雫」に場所を移し懇親会を行い、ここではお酒の席らしく和気あいあいと楽しく、和やかな時間が過ぎてゆきました。

担当幹事として、至らぬ点は多々ありましたが、皆様のご協力のもと12月例会を無事執り行うことができました。

12月例会にご参加いただいた皆様ありがとうございました。



を最大限発揮し、差別化を図っていることに感銘を受けました。

懇親会では、新潟県鍍金組合青年部より大久保会長、岡本副会長、千田副会長も合流。工場見学でお世話になった倉橋社長、岩田部長も参加いただき、大いに親睦を深めることが出来、本当に楽しい夜を過ごすことが出来ました。

2日目は、新潟市内観光チームと、弥彦神社参拝チームに分かれ、各チーム存分に新潟を満喫出来ました。前日の新潟青年部との懇親会を楽しみすぎて、グロッキーなメンバーが数名いた事も、充実した新潟視察旅行であったことの現れであったと思います。

最後に、視察を快く快諾頂きました新潟県鍍金組合並びに青年部の皆様に厚く御礼申し上げます。



(株) 諏訪田製作所
<https://www.suwada.co.jp/>

2月例会

「賀詞交歓会」

平成29年2月3日(金)
幹事 小林直樹・岡田祥一



2017年、初春を飾る埼玉鍍金の新春賀詞交歓会を、饗場新会長のもと、新道山家にて本年も賑々しく開催致しました。

饗場会長の熱い想い、過去から未来へ、埼玉鍍金のアイデンティティーを、台頭著しい活気ある若手会員へ承継すべく、先輩諸兄から得た感謝の念を今度は後輩たちへ伝えるとの意気込みを強く感じる新年の挨拶を頂きました。会長をはじめ誰もが入社当時は右も左も

わからない若輩者でありましたが、埼玉鍍金に於いて、同業他社の先輩方に仕事上の指導だけでなく、公私共に社会通念・常識・作法など、親にも益して指導頂き、時には親に代わって面倒を見て頂き、今日、この場に立てることを会長の言葉と共に、心より痛感し、感謝の念を抱きました。

埼玉県鍍金工業組合からは、伊藤副理事長(日本電鍍工業社長)に御参会頂き、御祝辞を頂戴いたしました。伊藤副理事長は全国的にも著名な経営者であり、同席できるまたとない機会であるにもかかわらず、埼玉鍍金例会への初の女性参加者に、緊張しているのか、会員からの積極的な懇親の姿勢が見受けられなかったのは少し残念であるとともに、伊藤副理事長への配慮が足りなかったことも、執行部として反省の点がありました。

懇親中は、じゃんけん大会にて獲得した高級酒類もその場で飲み干し、例年の埼玉鍍金の活況に酔い、宴の時間も瞬く間に過ぎ、本年の賀詞交歓会を閉会致しました。

二次会には趣向を変えて、ボウリング大会を開催。企画段階で、飲酒後のボウリングに懸念を抱いておりましたが、ゲーム開始後は、ほろ酔い、泥酔にもかかわらず、ボールを抱え、アプローチの足取りも真っ直ぐに、真剣にピンを狙い、皆様スコアを競い合い、波乱の予想は杞憂に終わり、懇親を深め、ケガもなく無事に2ゲームを投げ終えて、閉会致しました。

饗場会長のカラーも見え始め、早くも一年が経とうとしておりますが、埼玉鍍金の更なる発展、隆盛の為、会員皆様の自己研鑽に寄与できるよう、本年も活動をして参りますので、皆様のご理解とご協力、少しの努力をお願いいたします。

遅れまして、本年もよろしくをお願いいたします。役員一同。



4月例会

「講師例会」

平成29年4月14日(金)
幹事 吉田幸司・島田昌潔

4月例会は講師例会として4月14日(金) PRONT川口キャストィ店にて会員参加22名。

また名誉会員、仁科俊夫様にもご参加頂き合計23名の参加となりました。

講師は国立情報学研究所教授、人工知能学会会長、山田誠二様をお招きし、「人工知能について」と題し、講演して頂きました。会員一同、近い将来への希望と不安を胸に真剣に講演を聞き入り、時間が矢のように過ぎて講演終了を迎えてしまいました。また質疑応答も全員参加型として、各グループからの熱のある質問に先生が嬉しそうに応答していたのがとても印象的でした。

講演会終了後、懇親会を同じ場所にて行いました。そしてサプライズゲストとして歌手であるMAYAさんと川畑樹璃さんにお越し頂き、素敵な歌声で懇親会をととても華やかに盛り上げていただきました。本格的なイタリア料理に舌鼓を打ちながら、目の前で素敵な歌声を聞いたのは、まるでディナーショーのようでした。演奏終了後、サイン入りCDの販売が行われ、即完売したのは歌手の方と幹事含め驚きました。講演で感じたことなどを会員同士で語りあい、笑い声の絶えない中、今回の例会を締め括りました。

最後に私事ではありますが、今回初幹事を任せていただきました。同幹事の吉田さんをはじめ、饗場会長、役員の方々、参加して頂いた会員、皆様のお陰で無事に4月例会を終えることができました。今回、得た反省を次回の例会に生かせればと思っています。

皆様本当にありがとうございました。



第5回 めっき業界の未来を担う 若手の集い

平成29年3月3日(金)に第5回めっき業界「未来を担う若手の集い」が、九青会（九州めっき工業組合青年部）様主催のもと、福岡県で開催されました。

全国から総勢88名が出席されました。埼玉会からは8名の参加でした。

まず福岡に着いた我々は、福岡県福岡市にある株式会社九州電化様に訪問し、山田登三雄社長、山田亮部長に温かく迎えられ工場内の見学をさせていただきました。現代の名工や特級・一級技能士なども多数勤務しており、高いめっき技術を有している九州電化様の様々な設備を山田社長は惜しげもなく、見せてくださいました。

最近では医学の分野のめっきにも注力しているらしく、がん治療のための装置に九州電化様のめっき技術が生かされているそうです。我々めっきの技術がこのように世界に必要とされている、というのはやはり嬉しいものです。

次に我々は「未来を担う若手の集い」の会場である福岡県福岡市のソラリア西鉄ホテルへ向かいました。そこで株式会社オジックテクノロジーズ金森秀一社長による「熊本地震とその後について」という講演会を聞かせていただきました。

金森社長は2016年に起きた熊本地震において被災され、幸い全社員が無事ではあったのですが、会社の設備等が損壊し、しばらくめっき業務が出来ない状態、という手痛い経験をされました。しかし約一か月後には被災前と稼働率がほぼ同じ、と驚異の早さで復興したそうです。金森社長から被災時に人としてどう動くか、会社としてどう動くべきか等まさに現場の話を元に出来たノウハウを教えてくださいました。その他にも基本的な心構えとしてラクビー日本代表でも使われていた「リロード」という言葉を使い、人間、失敗する時も心が折れる時も必ずある。大事なものは倒れてもすぐに起き上がる。失敗してもすぐに立ち上がり前に進む事。すなわち「リロード」再装填、つまり素早く復帰するということである、とお話されていた事が、とても心に残りました。

そしてその夜、全国から集まった若手が思い思いに交流の場を広げていました。今回で第5回になる「未来を担う若手の集い」。交流もより広くなり、深くなっていっていると実感しました。

山田社長も金森社長も人との縁や繋がりをとても大切にされている方々です。今回の工場見学も若手の集いもまた埼玉会だからこそ出来た大切な縁の一つであり、これからも大事にしていきたいと思いました。

次回は東京開催という事なので、埼玉会としてやれる事は積極的にやっていきたいです。

最後に株式会社九州電化山田登三雄社長、山田亮部長、株式会社オジックテクノロジーズ金森秀一社長、そして九青会の方々には快く企画開催をして頂いた事や社内見学をさせて頂いた事、本稿を借りまして改めて深く感謝申し上げます。



埼玉会有志 工場見学

「今こそ仲間の力をを感じる時」

「今こそ仲間の力をを感じる時」とサブタイトルを添えながら埼玉会有志にて工場見学を企画しています。現在、埼玉会はSNSのLINEにて会員相互で受注相談をしております。自社ではできない仕事でも、相談を受けた会員が仲間に情報を伝えることで埼玉から仕事を逃さないということが大きな目的となっています。

そのためには仲間の工場を知り、真剣に仕事に取り組んでいる顔を見ることで、各会員のスキル・レベル・モチベーションを上げることを願いとして開催しています。

見学先の都合を最優先としているため、決して皆さんにとって都合の良い時間に開催できてはおりませんが、各回ともに多くの参加がありました。今後のスケジュールは未定で不定期開催はこれまで通りですが、今後ともよろしくようお願い申し上げます。終わりに工場見学を快く受け入れていただきました各社様には心より御礼申し上げますとともに、今後もその強みを生かして益々のご繁栄を祈念しております。



(株) 精硬クローム工業



(株) ダイエイバレル



(株) 甲斐野テックス



(有) 吉田商店



日本電鍍工業(株)

平成28年度 有志の工場見学 開催一覧

- 《第1回》 8月26日 川口エリア 参加者17名
(株)精硬クローム工業・(株)ダイエイバレル
新硬クローム工業(株)
- 《第2回》 12月 7日 嵐山・鴻巣 参加者11名
(株)甲斐野テックス・(有)吉田商店
- 《第3回》 2月22日 さいたま市 参加者14名
日本電鍍工業(株)

埼玉県鍍金工業組合 青年部

埼玉鍍金会

発行日 2017年6月10日
発行所 埼玉県鍍金工業組合青年部
埼玉鍍金会

発行人 埼玉鍍金会会長 饗場 功治
編集人 佐藤 智弘・熊木 庸介
